

公民館 だより にいだ

令和 4 年
9 月号
No.559

発行 二井田公民館 Tel49-4121 Fax42-4804

8/13
(土)

大雨で避難所に!

二井田犀川 氾濫危険水位に達したことにより

(7時閉鎖)

【二井田本村489世帯 1223人避難指示】 → 午前3時避難所開設～

8月前半から大雨が続き、ついに13日午前2時半過ぎ、犀川氾濫のおそれにより当館で避難所を開設しました。夜中の出来事でありテレビトップに本村避難指示が繰り返し表示されましたので、不安な時間をすごされたのではないのでしょうか。深夜の避難行動について通報含め大きな課題となりました。

今回情報収集に大館市のHPに全く反応がないため、多方面を自力検索し参考にしました。次回への備えや移動中の検索先の一つとして加えてみましょう。

検索

秋田県防災ポータルサイト
FMラジオおおだて
NHKニュース防災
川の防災情報(国土交通省)
能代河川国道事務所

※避難所でもマスク着用を

【当日の避難所状況】

二井田公民館避難0 7:00閉鎖
比内公民館避難1 13:30閉鎖
十二所公民館
避難11 14:30閉鎖

スポーツ各種大会状況

駅伝・文化祭 実行委員会延期

駅伝大会協議事項

- 1 通常開催
- 2 中止する
- 3 変更開催
・ 区間数変更
ほか

区	人数	種別	コース
5区	1	一般	秋本商→南小前 南小前→鉄架下
6区	1.6	一般	鉄架下→上四羽
7区	1.6	一般	上四羽→JA倉
8区	0.9	女子	JA倉→消防前
9区	1.2	40以上	消防前→公民館

※一般5区間のうち小学生
～高校生は2区間まで

※地区外在住者2名まで

7月下旬から新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、8月は感染者数が日々記録更新しております。今月は、会議を含めて変更や中止を決定しましたのでお知らせします。

【駅伝・文化祭】

11/6(日)本番予定として、9月15日(木)に実行委員会を開催する予定でしたが、会議は10月上旬に延期します。駅伝は選手のほか監察員等役員の確保なども課題となりますので直前1ヶ月前の感染状況等をふまえて10月に最終判断しましょう。

地区バレーボール大会は中止

9/25(日)麓西体育館で開催予定でしたが、感染状況拡大につき中止することにしました。

9/4(日)市スポレク祭出場!

市主催の大会に二井田地区からは3競技にエントリーしました。

午前9時～ 応援しよう!
ハチ公パワーで 必勝・必笑!?

- ・ 8人制バレー(タクミアリーナ)二井田ハチ公クラブ
 - ・ ユニカール(田代体育館) 麓西ユニカールサークル「ハチ」
 - ・ グラウンドゴルフ(二井田陸上競技場)二井田ハチ公 GG サークル
- ※8/26 現在の情報です

予告 (10月の交流サロン)

10/26(水)
市老連・老壮大学
学習会に参加



10月の交流サロンは、市老連と市老壮大学の合同学習会に、主催本部から二井田公民館の観覧参加枠をいただきました。但し、コロナ感染拡大状況により中止になる場合もあります。詳細は次号で。

移動図書館「おとり号」巡回日

- ◎二井田公民館前：13時55分～14時10分
6日(火)、20日(火)
- ◎大館南小学校：14時35分～14時50分
10日(土)、24日(土)

9月の公民館休館日

19日(月)敬老の日 23日(金)秋分の日

※9月ハチ公学級、交流サロン等お休みします

8/3(水)

南中生から避難所グッズ寄贈

防災学習に取り組む南中生7名から、避難所で入退場整理に役立ててほしいと、専用の腕章を寄贈していただきました。避難所運営で最も重要な入館者の把握にと発案。中学生の発想に拍手！今回は避難者がなく出番がありませんでした。出番のない日であってほしいです・・・。



- 来館南中生
- 下山宗慧③
 - 田村 湊③
 - 一関悠司②
 - 近藤優音②
 - 田村陽輝①
 - 大沢謙毅①
 - 安達謙伸①

避難者かスタッフか、入所中に一時退所か完全退所か等声掛けしやすい環境に！
ゴム紐で腕の長短に対応。

9/3(土)

錦神社例祭



今年の大河ドラマ前半には、藤原氏4代 泰衡や河田次郎も登場しました。二井田では9月3日に地元の館町内会により錦神社例祭が11時から行われます。(今年も町内役員&担当班による神事のみ)

神社内と贄柵跡地の案内看板に微妙な差があります。いわゆる公式歴史書とされている内容と地元伝承の違いの存在。これぞ800年の歴史ロマン？研究材料として始めてみてはいかがでしょうか。

錦神社

奥州平泉(若手県)の藤原氏四代泰衡は、源頼朝に追われ、エリ地に進れようとしてにえの備理二井田に家臣河田次郎を頼って立ち寄ったところを、その裏切りにあつて殺された(文治五年 一一八九九月三日)。地元の人々は、そのことを次のように語り伝えている。

河田次郎は、「泰衡をかくまうて罪になるより、泰衡を討つて頼朝の賞金を」と考え、主人殺しの罪にならずに泰衡を討つ計画を練った。旧九月三日の夜、次郎は多くの家来を使って、頼朝の大軍が攻め入つたように見せかけ、泰衡が観念して切腹するように仕向けた。この計画は成功し、次郎は泰衡の首をはねた。

その後、首のない泰衡の死体は、里人によつて館の園に大木に包まれて埋葬されたという。

この墓が「にしき塚」と呼ばれて当神社となり、毎年旧九月三日にお祭が催されてはいる。

ここから南西約三キロメートルの五輪台(比内町西館)には、泰衡のあとを慕い、長い旅を続けてきた奥万と、密使にまつる話が伝わり、その遺跡は西不戸神社として祭られている。

錦神社の看板表記

史跡 贄柵跡の看板表記



史跡 贄柵跡

城主河田次郎没後八百年記念に因んで

藤原泰衡はより八百年前、文治五年(一一八九)源頼朝と館川の戦に負け相先永住の関城を捨て北上し、出羽の国の置戸であった出羽の国比内郡の贄柵の河田次郎を頼って、部下三名を連れて逃れて来た。

当時河田次郎は此の度の戦には、遠慮の地である上、事件が急であつて参戦に間に達せず遠くから世の形勢を監視して居た。そこへ城主である泰衡が敗残の将として現れたのである。贄柵は壮大な館を構え、固陣へ武勇を誇かし、実直で人望の高い武将であつたので城主である泰衡を手厚く迎え入れ待っていたが、隣国方からの迫及が激しかったので慎重なる城内会議など、その物々しさに切羽詰まつている状態を察知した泰衡は、自分が居ては運懸をかけるばかりだと判断、腕を流し川向いの置戸の中で自害して果てた。

次郎は困り果てたが死んでしまつてはどうかにもならず、泰衡の首を持って置戸方へ届け出た。だが頼朝は、主君である泰衡の首を切るとは不忠にも難だしいと、次郎に逆臣の罪を冠せ断罪に処した。

館に残つた一族の華族化を恐れた頼朝は、猜疑心が強いので一族断絶の命令を下しその刑を執行したのである。今、下高村を「ハリツケバ」と言うが、当時の一族の刑場であつたと伝えられている。

その後、館町内の人々は、かねてから次郎が氏神として城内で崇拝した護国八幡神社と、泰衡の墓を祀る錦神社の二社を大切に維持して現在に至つている。

平成元年十一月二十八日

大館市老人会連合会
二井田地区老人会連合会
館町内会